

コラム：「広げるリフォーム」を実現するには・・・。

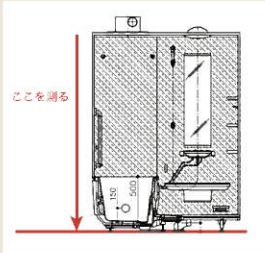


「広げる」リフォーム！ってなんだか魔法にでも掛かっているような言葉のイメージですが、実は結構たいへんで、そのご要望を実現するためにゴーイング・グリーンプランナー達は人知れず、奮闘しています。今回のコラムではその「広げる」を実現するためにプランナー達が何をしていたか、その裏側をご紹介します。これらを実現するコツとは何か？事例紹介の中にそのヒントが隠されていました。

そう、それは「現地調査」。

なんだか一気に現実に引き戻されましたね。リフォームの基本の「キ」は綿密な現地調査なのです。紙面の関係上、過程は割愛しましたが、事例03でご紹介した浴室を例に取ります。プランナーは様々な角度から工事前に現地調査を行っています。既存の浴室の点検口から体を乗り出し、壁や床下に隙間や空間がないか、また既存の構造などと照らし合わせながらも広くできるのではないかという仮説を具現化するためにしっかりと現地調査を行い、仮説を立証して実現にごзつていきます。そう水面下の白鳥の水掻きのように。日本が誇る今をときめく大リーグ選手だって努力なくしてはその才能を発揮できないように、リフォームも綿密な現地調査なくしては夢の実現は叶いません。

今回は「広げるリフォーム」がテーマでしたが、どんなご要望・テーマも皆同じです。一足飛びの魔法は存在しません。夢の実現はプランナー達の水面下の水掻きが重要。すべてはおお客様の満足のために。



システムバス点検口から、ぐいっと身を乗り出して、床の位置を測ります。



壁が厚いシステムバスと外壁の間にスペースがありそう。調べてみよう。

訪問せずに現場を確認！オンライン相談をご利用ください。

プライベートや衛生上の問題で、できれば訪問は控えてほしい。そんなご要望に、パソコンまたはスマートフォンを利用したオンライン相談でお応えします。ぜひご利用ください。



こんにちは！ 私たちがゴーイング・グリーンです。

長くつきあう やさしいエコリフォーム

「ゴーイング・グリーン」とは「地球にやさしくしよう！」を意味する言葉です。ガス会社の米山商事が、エコの気持ちのこもった言葉を、リフォーム事業部のブランド名にしました。1969年の創業から、これまで培ってきたサービスとノウハウを活かし、お客様の住まいへの想いやお悩みを共有し、快適な暮らしを共に考えていきます。

家は応急処置的な修繕ではなく、個々のお悩みやニーズをよく理解して、長く役に立つリフォームをご提供すること。それがご家族の成長や暮らしを支えると同時に、家そのものが家族の一員として育つことにつながると私達は信じています。ゴーイング・グリーンは、お客様ひとりひとりの日常的・定期的なコミュニケーションを通じて理解した住まいへのお悩みやニーズに対し、安全・質・エコにこだわったリフォームサービスをご提供いたします。



米山商事社屋



ゴーイング・グリーンのリフォーム現場

お問い合わせ・ご相談・見積はこちらまで。

☎ 0120-025-218 9:00~19:00
日・祝除

E-mail : info@goinggreen-reform.com

〒223-0057 横浜港北区新羽町1-526 株式会社 米山商事



リフォーム・ライフスタイルマガジン Vol.22

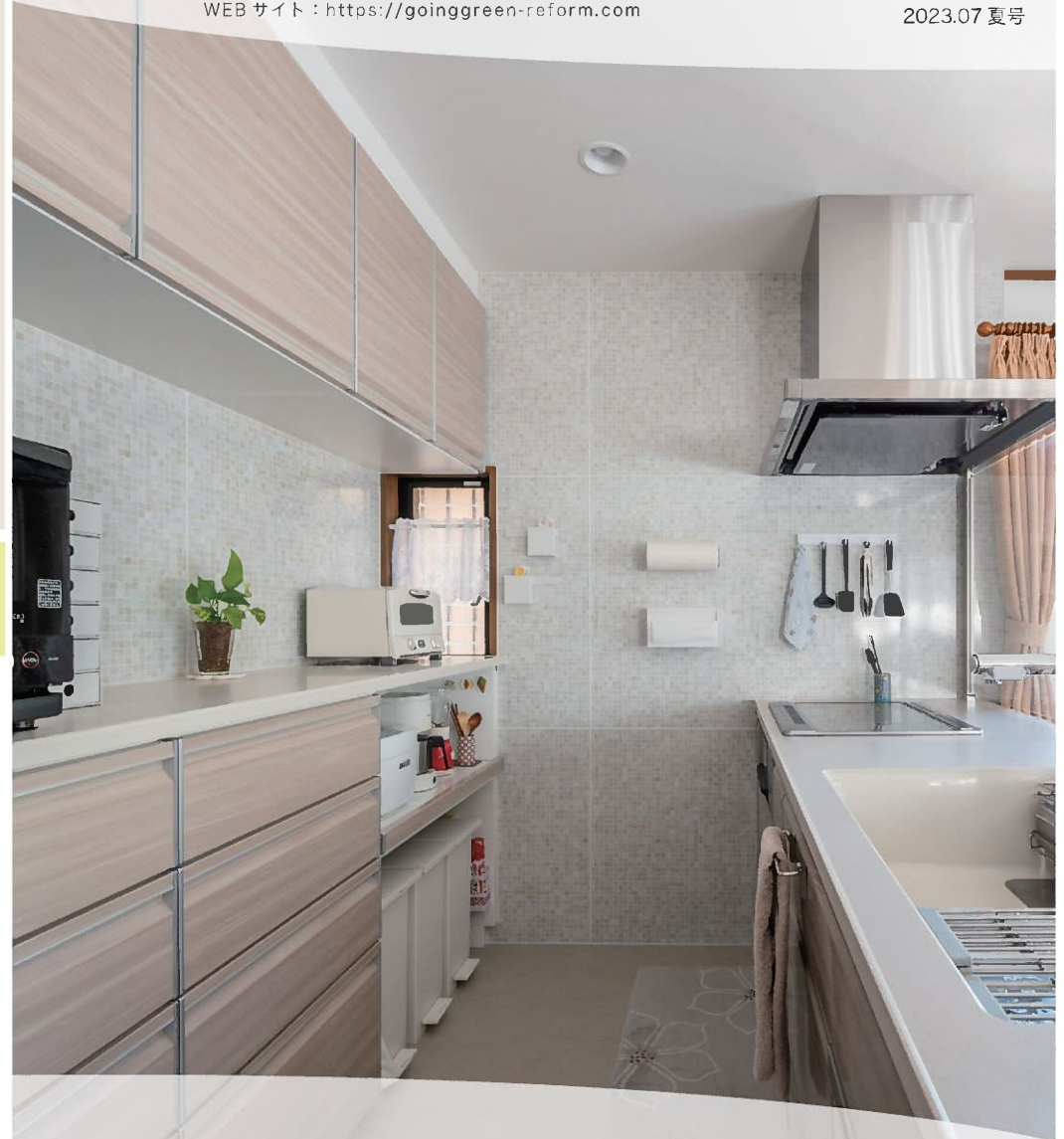
暮らしのカタチ

WEBサイト : <https://goinggreen-reform.com>



株式会社 米山商事

2023.07 夏号



広げるリフォーム

昨今のゴーインググリーンのリフォームトレンドワード「広げる。」
キーワードの意味するところは？
見て納得。広げるリフォーム事例をご紹介します。



「広げる。」をテーマにしたリフォーム

広げることで住まいが快適に。3つの事例をご紹介します。



事例紹介 01：部屋を繋いで広げるリフォーム

2DKを1ルームに。

横浜市 A 様邸
内容：リノベーション
期間：4週間



After：繋げてワンルームに。



Before：昔ながらの引戸の部屋。



After：キッチンも広々。



After：オープン収納で使いやすく。

リフォームのきっかけ

A様が所有されている築40年超の賃貸マンションは、利便性が高い立地で常に満室です。2階に長く住んでいた高齢の男性が「階段が大変になってきて」と少し前に空室になった同じ建物の1階にお引越し。空いた2階のお部屋を改修することになりました。

こだわりポイント

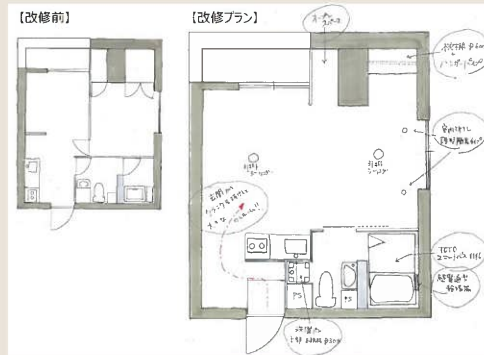
奥様からは「室内に洗濯機置場と室内物干しを」ご主人からは「すぐに入居が付くように」この2点を中心に、ご夫妻と打合せを重ねました。

自由に家具をレイアウトできるワンルームに。

ソファ・テーブル・ベッドなどの家具が自由にレイアウトできるように、部屋の間仕切り壁は殆どを撤去。生活の動線を考えてキッチンの位置を変更しました。お届けものが多い昨今、玄関から室内が見えないように。

お引き渡しをしたのは3月31日。4月6日にはA様から「申し込みありがとうございました」と嬉しい報告がありました。

将来、別の部屋が空いたらまたこのプランで行こうかなと、ありがたいコメントをいただきました。



事例紹介 02：キッチンを広げるリフォーム

リビングが見渡せるキッチン

川崎市 N 様邸
内容：キッチン・リビング
期間：5日間



After：袖壁と垂れ壁がなくなってダイニングと広く繋がるキッチン



Before：壁に囲まれて閉鎖的なキッチン

After：スッキリ開放的なキッチン



After：視界が広がり、リビングダイニングが見渡せる。

キッチン吊戸や壁の一部を取り払い、オープン仕様にしたいとご要望をいただきました。開放感を出すために開口部分を天井まで高くするプランも検討しましたが、シンク右側の壁を残したままでは既存と同じ開口サイズのキッチンへの交換となってしまいます。せっかく壁を取り除くのならもう少し大胆に！ということで、キッチン横の袖壁も無くすと壁の厚み分約15cm広いキッチンにできます。ワンサイズ上のキッチンが設置できると収納力も上がります。キッチンに立つとリビングを見渡せて家族のコミュニケーションも取りやすい明るいLDKになりました。

事例紹介 03：浴室を広げるリフォーム

壁と床の隙間を無くして浴室を広げる

横浜市 K 様邸
内容：浴室
期間：4日間



After：広々とした浴室の完成



After：段差のない出入口



Before：狭い浴室

Before：不便な段差



Before：浴室と壁の間に隙間が。



Before：床下50cmの空きが。

今は「1116サイズ」のシステムバスですが、もっと大きくなりませんか？窓面に無駄なスペースがあるような気がする・・・そんな疑問から始まったリフォーム。現地を確認してみると浴室の壁の向こう側に12cmに及ぶ大きな隙間がありました。この隙間を活かせば、「1216サイズ」の広いシステムバスが設置できる。さらに調査を進めると前の浴室は二重床の上に設置されていることが判明。二重床を撤去すれば、浴室を下に下ろして設置できる。下に空間があったお陰で跨がず入れる段差のないバリアフリー浴室の実現しました。



施工事例は弊社WEBサイトを御覧ください → <https://aoina-green-reform.com>



スタッフブログを更新しています。

→ <https://aoina-green-reform.com/bloa.html>

